

がん検診受診率の向上対策の取組経過

1. 背景

小樽ではがんによる死亡が全国・全道と比べて多い一方、がん検診受診率が全国・全道と比べてきわめて低い。小樽市ではこの状況の改善を目指し、令和6年度から小樽市健康増進・自殺対策計画をスタートさせ、令和10年度に小樽市民のがん検診受診率を肺がんで60%、胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんで40%に向上させる目標値を設定した。

2. がん検診受診率の現状値

胃がん 26.1%、肺がん 43.3%、大腸がん 27.3%、子宮頸がん 27.8%、乳がん 25.2%

※ 市民アンケート（令和4年1～2月実施、1,883人中517人回答、回答率27.5%）より

3. 令和6年度、7年度の取組

	令和6年度	令和7年度	令和8年度（案）
取組内容	①「広報おたる」への特集記事の掲載、SNSによる周知、チラシの配布 ②講演会の開催 ③イベントへの参画 ④個別勧奨 ・数年未受診者への受診勧奨ハガキの送付 ・子宮頸がん（20歳）・乳がん検診（40歳）無料クーポン券の送付 ・子宮頸がん自己検査キットの送付（25歳） ⑤モデル町会（望洋台、幸）の設定と取組 【対策の開始、取組構想】	①広報の強化 ★市内各所への啓発ポスター掲示、バス車内広告 など ②個別勧奨の強化 ★3年間で全市民（40～60代男性と20～60代女性）へがん検診受診勧奨レターを送付 ★無料クーポン券送付後の未受診者へがん検診受診を勧奨するハガキを送付 ③がん検診実施場所の拡大 ・望洋ふれあいセンター（モデル町会アンケートから） ・札幌がん検診センター ④モデル町会の取組拡大 ★個別訪問勧奨、町内会館利用団体へがん健康教育 ⑤★健康ポイント事業 【新規事業の積極的实施】	①広報の強化 ・新規啓発資材を用いた啓発 ②イベントへの参画強化 ・民間企業との連携により、周知啓発拡大 ③個別勧奨、再勧奨の継続 ④がん検診受診場所拡大 ⑤がん検診モデル事業への参画 ⑥健康ポイント事業の拡大 など 【R7 実施内容の維持拡大】
がん検診受診率	前年比 97.9%	（4月～11月時点） 前年比 104.3%	—

※令和7年度から令和9年度までの3年間でがん検診受診率の大幅な向上を目指して取組を進め、令和11年度の健康増進・自殺対策計画の中間評価においてこの効果を判定する。